

開催案内

第61回

全国自治体病院学会 in 北海道

Photo by 山本 純一

未来に輝け 自治体病院

～Mission! 持続可能な地域医療を構築せよ～

会期

2023年8/31(木)・9/1(金)

学会長

松岡 伸一 (苫小牧市立病院 院長)

会場

札幌コンベンションセンター
札幌市産業振興センター

<https://www.ec-ph.jp/61jmha>





私が、私へと帰る場所。
札幌のオアシス、中島公園のリゾートホテル。



札幌パークホテル 北海道札幌市中央区南10条西3丁目 〒064-8589
Tel:011-511-3131 Fax:011-531-8522 park1964.com

SAPPORO PARK HOTEL



CONTENTS

学会へのご案内（ごあいさつ）	3
会期・会場及びお問合せ先	4
会場までの交通機関、会場周辺案内図	5
学会日程表（予定）	6
総会プログラム	8

分科会プログラム

[職種・技術系]

看護・看護教育分科会	10
臨床医学分科会	11
臨床医学分科会（精神科領域）	12
薬剤分科会	13
臨床検査分科会	14
放射線分科会	15
栄養分科会	16
リハビリテーション分科会	17
臨床工学分科会	18

[経営・管理系]

経営・管理分科会	19
地域医療・連携・福祉分科会	20
地域医療・連携・福祉分科会（精神科領域）	21
道民公開講座 1～3	22

学会参加登録	23
演題発表申し込み	26
ポスターセッションについて	30
宿泊のご案内	32
エクスカーションのご案内	33

未来に輝け 自治体病院

～Mission! 持続可能な地域医療を構築せよ～

学会長 松岡 伸一

苫小牧市立病院 院長



2023年8月31日（木）、9月1日（金）の2日間にわたり、第61回全国自治体病院学会を、北海道札幌市「札幌コンベンションセンター」及び「札幌市産業振興センター」を会場として開催いたします。

日本のみならず、全世界が新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受け、医療体制をはじめ社会システム全般にわたり変革を余儀なくされてきました。

私たちは、いまだにコロナ対策の終焉を見通すことはできず、繰り返し押し寄せる波を前に不安な日々を過ごしています。

そんな中であっても、地域の人口減少や医師確保など様々な問題を抱えながら、今回の新型コロナウイルス感染症に対応し、多くの自治体病院が真摯な努力を続けることにより、改めてその存在意義が注目されております。

本学会においては「未来に輝け 自治体病院」をテーマにすえ、各地で地域医療構想や医師の働き方改革が進む中で、私たちが目指すべき自治体病院における「あるべき医療の未来」を皆様とともに、しっかりと議論していこうと考えております。

加えて、気候変動や異常気象が頻発する国内の、防災や減災を医療の視点から支えていくための基盤づくりが不可欠な一方、感染症対策など新たな時代に対応する「持続可能な社会」を編成していく必要があることから、サブテーマを「～Mission! 持続可能な地域医療を構築せよ～」とし、私たちが担う地域医療を足元から見つめてまいります。

本学会が開催される札幌は、東京から直線距離で約1000キロの位置にあり、国内で最も東京からの航空機の便数の多い地域でもあります。

北海道ならではの広大な大地と雄大な景色をお楽しみいただけることでしょう。

また、北海道を代表する味覚である、ジンギスカンやビール、アイスクリームといった食べ物・飲み物が皆様のお腹を満足させてくれると思いますし、学会が開催される8月下旬は、まだ道内の「夏の楽しみ」のメロンやスイカ、とうきび等も十分にご堪能いただきたいと思います。

道内の126の自治体病院が、総力をあげて準備を進めております。

魅力満載の北の大地、北海道で多くの皆様のご来場をお待ちしております。

会 期

第1日目 2023年8月31日（木）

開会式、会長特別講演、総会シンポジウムⅠ、分科会、ランチョンセミナー、交流会

第2日目 2023年9月1日（金）

第60回全国自治体病院学会最優秀演題発表、総会シンポジウムⅡ、総会特別講演Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（道民公開講座）、分科会、ランチョンセミナー、閉会式

会 場

札幌コンベンションセンター（講演会場、ポスター会場、展示会場）

〒003-0006 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

TEL：011-817-1010

札幌市産業振興センター（ポスター会場）

〒003-0005 北海道札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1

TEL：011-820-3033

札幌パークホテル（交流会会場）

〒064-8589 北海道札幌市中央区南10条西3丁目1-1

TEL：011-511-3131 FAX：011-531-8522

お問合せ

学会事務局

苫小牧市立病院 事務部経営管理課

〒053-8567 苫小牧市清水町1丁目5-20

運営事務局

【学会の運営・プログラム、演題登録についてはE-mailでお問合せください。】

株式会社プランニング・ホッコー

〒007-0805 北海道札幌市東区東苗穂5条1丁目6-33

TEL：011-780-5577 FAX：011-780-5588

E-mail：61jmha@ec-ph.jp

〈お問合せ受付時間〉月曜～金曜 10：00～17：00（土日祝日は休業）

オフィシャル・トラベルエージェント

【事前参加登録・宿泊・エクスカーションについてのお問合せ先】

株式会社日本旅行北海道苫小牧支店

「第61回全国自治体病院学会」受付デスク

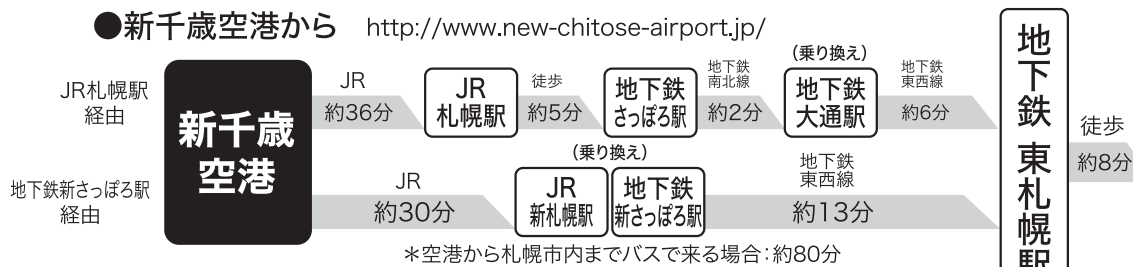
〒053-0022 苫小牧市表町1丁目4-5 NCビル1階

TEL：0144-32-6467 FAX：0144-32-6471

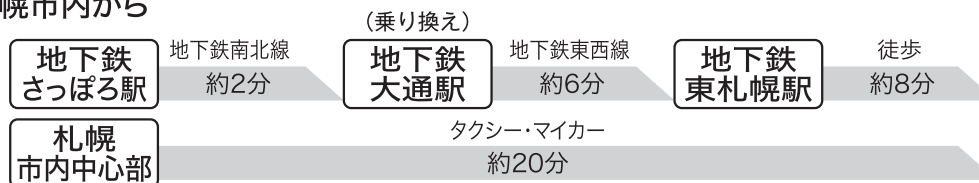
E-mail：jmha61@nta.co.jp

〈お問合せ受付時間〉月曜～金曜 10：00～17：00（土日祝日は休業）

●新千歳空港から <http://www.new-chitose-airport.jp/>



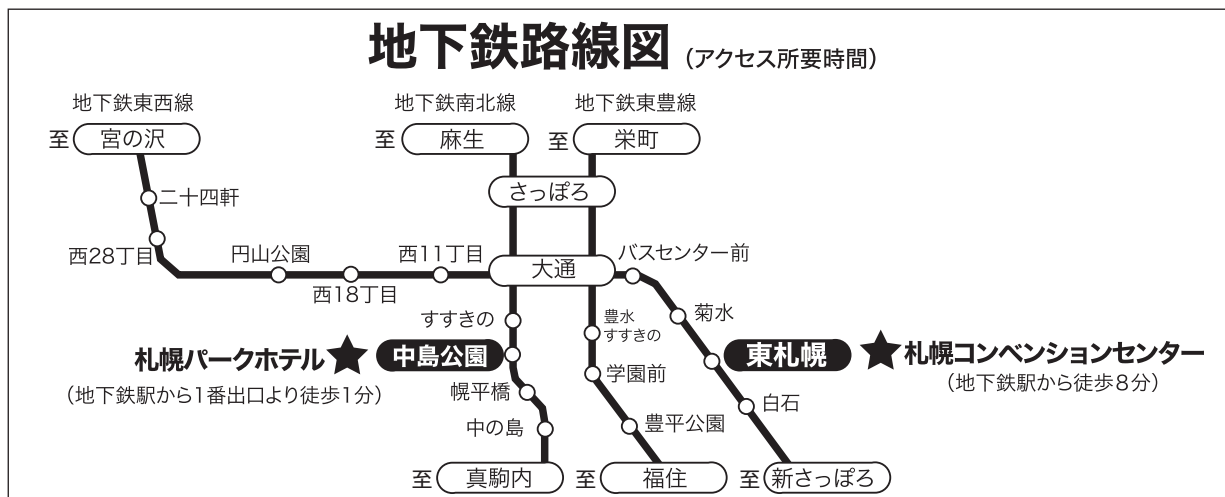
●札幌市内から



東札幌駅から札幌コンベンションセンターまで



地下鉄路線図 (アクセス所要時間)



学会日程表（予定）

—1日目—

令和5年8月31日(木)

		7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30
第1会場	大ホール 2/3 (1300)				開会式・総会		会長特別講演		総会シンポジウムⅠ			
第2会場	特別会議 (600)										ランチョンセミナー①	
第3会場	中ホール (200)										ランチョンセミナー②	
第4会場	中ホール (200)										ランチョンセミナー③	
第5会場	小ホール (190)										ランチョンセミナー④	
第6会場	204 (240)										ランチョンセミナー⑤	
第7会場	206 (150)										ランチョンセミナー⑥	
第8会場	207 (150)										ランチョンセミナー⑦	
第9会場	セミナー A (250)											
ポスター会場	コンベンションセンター／産業振興センター各会場						ポスター掲示					ポスター閲覧
展示会場	コンベンションセンター1階							企業展示				
交流会会場	札幌パークホテル											

—2日目—

令和5年9月1日(金)

		7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30
第1会場	大ホール 2/3 (1300)				最優秀演題発表		総会シンポジウムⅡ					
第2会場	特別会議 (600)				経営・管理分科会特別講演		経営・管理分科会シンポジウムⅡ				ランチョンセミナー⑧	
第3会場	中ホール (200)				臨床工学分科会シンポジウム		臨床工学分科会特別講演				ランチョンセミナー⑨	
第4会場	中ホール (200)				臨床医学分科会（精神科領域）シンポジウム		地域医療・連携・福祉分科会（精神科領域）特別講演				ランチョンセミナー⑩	
第5会場	小ホール (190)				リハビリテーション分科会基調講演		リハビリテーション分科会シンポジウム				ランチョンセミナー⑪	
第6会場	204 (240)						経営・管理分科会医療の質の評価・公表等推進事業シンポジウム				ランチョンセミナー⑫	
第7会場	206 (150)				臨床検査分科会特別講演Ⅰ	臨床検査分科会特別講演Ⅱ	臨床検査分科会特別講演Ⅲ	臨床検査分科会特別講演Ⅳ			ランチョンセミナー⑬	
第8会場	207 (150)										ランチョンセミナー⑭	
第9会場	セミナー A (250)											
ポスター会場	コンベンションセンター／産業振興センター各会場		ポスター掲示		一般演題発表 (看護・看護教育分科会、臨床医学分科会、薬剤分科会、放射線分科会、栄養分科会、地域医療・連携・福祉分科会)							ポスター閲覧
展示会場	コンベンションセンター1階							企業展示				

13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00
ランチョン セミナー①		看護・看護教育分科会 特別講演		看護・看護教育分科会 シンポジウム										
ランチョン セミナー②		薬剤分科会 特別講演		薬剤分科会 シンポジウム										
ランチョン セミナー③		放射線分科会 特別講演Ⅰ	放射線分科会 特別講演Ⅱ	放射線分科会 特別講演Ⅲ		放射線分科会 特別講演Ⅳ								
ランチョン セミナー④		臨床医学分科会 シンポジウム												
ランチョン セミナー⑤		経営・管理分科会 シンポジウムⅠ												
ランチョン セミナー⑥		地域医療・連携・福祉分科会 特別講演		地域医療・連携・福祉分科会 シンポジウム										
ランチョン セミナー⑦		栄養分科会 特別講演Ⅰ		栄養分科会 特別講演Ⅱ		栄養分科会 特別講演Ⅲ								
ポスター 閲覧		一般演題発表 (看護・看護教育分科会、臨床検査分科会、リハビリテーション分科会、 臨床工学分科会、経営・管理分科会)						ポスター 撤去						
		企業展示												
											交流会			

13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00
総会特別講演Ⅰ 道民公開講座		総会特別講演Ⅱ 道民公開講座		総会特別講演Ⅲ 道民公開講座		閉会式								
ポスター 閲覧		ポスター 撤去												
企業展示														

第1日目 令和5年8月31日（木）第1会場

◇開会式・総会 9:00～9:30

◇会長特別講演 9:30～10:15

演 題 「医療提供体制改革と自治体病院（仮）」
講 師 小熊 豊（公益社団法人全国自治体病院協議会 会長）
座 長 和泉 裕一（名寄市病院事業管理者）

◇総会シンポジウムⅠ 10:15～12:15

テ ー マ 「これからの地域医療をいかに構築するか～課題と展望～」
基調講演講師 「医療 DX の取組みについて」
田中 彰子（厚生労働省医政局参事官（特定医薬品開発支援・医療情報担当））
シンポジストⅠ 「大空ローカルハブによる『医療×交通』で共創」
野村 文吾（十勝バス 代表取締役社長）
宇野 英二（医療法人社団 愛和会 十勝ヘルスケアクリニック 理事長）
シンポジストⅡ 「過疎地でこそ持続可能な医療 DX 化を推進、医療 DX 3 年目を迎えて」
大西 一郎（AP TECH 株式会社 代表取締役）
シンポジストⅢ 「自然言語 AI を活用した医療 DX
～文章認識 AI による病院の事務効率化事例と、最新の音声認識技術とは～（仮）」
松橋 岳（PKSHAworkplace workplace 事業部セールスマネージャー）
シンポジストⅣ 「これからの病院に求められるデジタルシフトとは
～AI レセプト作成支援システムを用いた医事業務の変革～」
井桁 貞（フィルタス株式会社 取締役）
座 長 望月 泉（公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長／
八幡平市病院事業管理者 兼 八幡平市立病院 統括院長）
松本 昌美（公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長／
南和広域医療企業団南奈良総合医療センター 院長）

第2日目 **令和5年9月1日（金）第1会場**

◇第60回全国自治体病院学会最優秀演題発表 **8:30～9:30**

座 長 西川 秀司（札幌市病院事業管理者／市立札幌病院 院長）

◇総会シンポジウムⅡ **9:30～11:30**

テ マ 「自治体病院の経営強化に向けた取り組み～実践編～」

基調講演講師 「2040年から考える病院機能のありかた」

松田 晋哉（産業医科大学 医学部公衆衛生学 教授）

シンポジストⅠ 「地域のニーズと自院の目指す方向性」

谷口 健次（小牧市民病院 院長）

シンポジストⅡ 「クリニカルパスを利用した経営の質の改善」

佐藤 耕一郎（岩手県立磐井病院 院長）

シンポジストⅢ 「命を守る強固な地域センター病院を目指して～オホーツクフォーメーションを構築せよ～」

曾ヶ端 克哉（広域紋別病院 院長）

シンポジストⅣ 「Home Hospital～帰ってきたいくなる病院～」

江角 悠太（国民健康保険志摩市民病院 院長）

コメンテーター 須田 善明（全国自治体病院開設者協議会 副会長／宮城県女川町長）

座 長 竹中 賢治（公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長／天草市病院事業管理者）

田中 一成（公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長／

地方独立行政法人静岡県立病院機構 理事長／静岡県立総合病院 名誉院長）

◇総会特別講演Ⅰ（道民公開講座） **13:00～13:45**

演 題 「未定」

講 師 北海道出身タレント（予定）

座 長 小倉 滋明（岩見沢市立総合病院 院長）

◇総会特別講演Ⅱ（道民公開講座） **13:45～14:30**

演 題 「未定」

講 師 北海道に縁のある人物（予定）

座 長 石田 博英（八雲総合病院 院長）

◇総会特別講演Ⅲ（道民公開講座） **14:30～15:30**

演 題 「自治体病院と『地球の健康、社会の健康、人間の健康』」

講 師 寶金 清博（国立大学法人北海道大学 総長）

座 長 松岡 伸一（苫小牧市立病院 院長）

◇閉会式 **15:30～16:00**

テーマ

『「看護の進化と深化」～北の大地から未来へつなぐ～』

札幌市病院事業管理者
市立札幌病院 院長
西川 秀司



人口減少、高齢化が着実に進行している社会情勢の中、これからの医療体制を改めて構築していかななくてはなりません。2022年11月の第8次医療計画作成指針のとりまとめ案には「地域における入院・外来・在宅にわたる医療機能の分化・強化、連携等の重要性、地域医療全体を視野に入れて適切な役割分担の下で必要な医療を面として提供することの重要性などが改めて認識された。」と記載されております。

このような中、「看護」の重要性が今まで以上に高まることは明かです。看護職の皆さんが現場で常に患者さんに接し、多職種連携、チーム医療が当たり前の時代においても、医療現場の中心に存在し、最も大きな役割を担っています。そのことはこの4年にわたるコロナ禍で再認識されました。看護職の皆さんの使命感と責任感、そして勇気ある活躍で人々に感動を与えました。

2040年を見据えての救急医療体制、職員の確保、しっかりとした経営的基盤など多くの課題が山積しておりますが、それらを乗り越えるために必要なのが「看護の進化と深化」です。

時代の変化に対応し、質の高い看護を追求するためにも近年著しい進歩を見せているAIが不可欠です。AIを駆使することにより、直接患者さんに寄り添う時間を増やし、内容をより深いものにすることが可能となるはずです。

さらに、われわれ自治体病院がこれからの地域医療を持続的に支えていくために看護教育は極めて重要です。人材育成は未来のために必須のもので、次世代に紡いでいかなければなりません。

今回の公演、シンポジウムが「看護の進化と深化」のお役に立ち、未来の看護へのReraになることを祈念いたします。

1. 特別講演【2023年8月31日（木）14:00～15:00】

演 題	「AI研究者から見た看護」
講 師	中島 秀之（札幌市立大学 学長・教授）
座 長	西川 秀司（札幌市病院事業管理者／市立札幌病院 院長）

2. シンポジウム【2023年8月31日（木）15:00～17:00】

テーマ	『「未来の看護を創る Rera（風）になる」～看護の心を身に着ける人材育成～』
シンポジストI	「未来に生きる看護職の育成—看護基礎教育の視点から—」 大日向 輝美（札幌保健医療大学 保健医療学部看護学科 教授）
シンポジストII	「未来に生きる看護職の育成—次世代の管理者をどう育てるか—」 平林 慶史（有限会社ノトコード 代表取締役）
シンポジストIII	「未来に生きる看護職の育成—訪問看護職育成の視点から—」 川添 高志（ケアプロ株式会社 代表取締役）
座 長	中村 由香（苫小牧市立病院 看護部長）

テーマ

『生産年齢人口減少による 医療従事者の働き手不足に対するアプローチ』

市立釧路総合病院 院長
森田 研



2025年問題から2040年問題に至る構造的な我が国の人口減少が北海道各地で予測されており、それに伴う生産年齢人口の減少・高齢者人口の増加が各病院で逼迫する課題として認識されております。

これは医療従事者の確保という面で自治体病院の共通の課題である一方、人口構成や将来予測において北海道内でも医療圏によって無視できない地域差があり、各地域の特殊性や産業構造などを考慮した対策の個別化が必要であると考えられます。

北海道の自治体病院を支える医療従事者の確保において、各地域の特色に応じた人材確保の将来像につき、「自治体との連携」、「家庭医療学やDXを考慮した連携」、「病院経営戦略からの視点」、「北海道という地域性」の4つの視点から課題と対策を論じ、持続的に地域医療を推進していくためのアプローチを検討してまいりたいと考えております。

北海道から発信できる自治体病院の課題・展望を共に情報共有し、地域が抱えている各種懸案事項解決の糸口となれば幸いです。

1. シンポジウム【2023年8月31日（木）14:00～17:00】

テーマ	「生産年齢人口減少による医療従事者の働き手不足に対するアプローチ」
シンポジストⅠ	「北海道の保健医療行政の現状について（仮題）」 大原 宰（北海道保健福祉部地域医療推進局 地域医療課 医療参事）
シンポジストⅡ	「地域の自治体・共同体の特性を生かした人材確保のアプローチ」 猪狩 僚（いわき市保健福祉部地域包括ケア推進課）
シンポジストⅢ	「北海道家庭医療学センターの組織を生かした人材確保のアプローチ」 中川 貴史（医療法人北海道家庭医療学センター 常務理事／栄町ファミリークリニック 院長）
シンポジストⅣ	「医療需給密度の地域性について」 今西 陽一郎（株式会社アイブレイン 代表取締役）
座長	草場 鉄周（医療法人北海道家庭医療学センター 理事長）
座長	森田 研（市立釧路総合病院 院長）

テーマ

『コロナ禍をいきる、コロナ禍をいかす』

岩見沢市立総合病院 院長
小倉 滋明



精神科領域の2つの分科会は、「コロナ禍をいきる、コロナ禍をいかす」というテーマで開催いたします。臨床医学分科会（精神科領域）では、シンポジウムを開催します。

2020年以来のコロナ禍は、丸3年を過ぎても収束に至っておらず、私たちの医療は大きな影響を受け続けてきました。自治体病院は大きな役割を果たしており、従来の日常診療を割いての対応になっています。ひとたび院内感染が発生すれば病院機能が大きく損なわれるため、薄氷を踏むような緊張の日々が続いています。

自治体立総合病院精神科も例外ではありません。

担ってきた役割は、具体的には次のようなものです。①感染対応病棟でのリエゾン診療、②院内外の陽性精神科患者への対応、③病院スタッフのメンタルヘルスケア。そして、有床であれば、④精神科入院病棟での感染対策と陽性者が出た場合の対応。

北海道では12の市町立病院で精神病床が稼働しており、このうち7つの病院では70床以上を有しています（2022年11月現在）。こうした病院は道内各地に点在しており、各地域における精神科医療の大きな拠点ともなっています。前述のコロナ対応に注力する一方、本来の精神科医療をいかに維持するかは難題となってきました。

本シンポジウムでは、道内の自治体立総合病院のうち3つの病院から、従来の精神科医療の継続とコロナ禍における役割について、その中での葛藤を含めて報告していただきます。

1. シンポジウム【2023年9月1日（金）8：30～10：00】

テーマ	「北海道の自治体立総合病院精神科はコロナ禍でどのような役割を果たしてきたか」
シンポジストⅠ	「道央・砂川の場合 ～院内外のクラスター対応を中心に～」 畠山 茂樹（砂川市立病院 精神科部長）
シンポジストⅡ	「道東・釧路の場合 ～精神病床の転用を経験して～」 宗岡 広弥（市立釧路総合病院精神神経科 医長）
シンポジストⅢ	「札幌の場合 ～精神科救急、身体合併症医療とコロナ対応～」 伊藤 侯輝（市立札幌病院精神科 部長）
座 長	栗田 紹子（市立稚内病院精神神経科 診療部長）
座 長	笹川 嘉久（小樽市立病院精神科 医療部長）

テーマ

『薬剤師が知っておくべき医療 DX と病診薬連携の未来』

市立旭川病院 院長
齊藤 裕輔



令和4年10月に「医療DX推進本部」が設置され、健康保険証としてのマイナンバーカードの利用や、電子処方箋の導入などが予定されています。病院の電子化については、オーダーリングシステムの普及により、多くの情報が共有され医薬品の適正使用や安全管理においても重要な役割を果たしてきました。一方、「処方箋」は現在でも原則「紙」で運用されているため、薬剤情報の共有が煩雑困難な状況が続いています。今後、地域医療構想の進展による病院のさらなる機能分化により電子処方箋の導入はより重要な意味を持つことが考えられます。

本薬剤分科会では、「薬剤師が知っておくべき医療DXと病診薬連携の未来」をテーマとし、薬剤師が今後のより複雑化する医療環境の中で知っておくべき医療DXについて理解を深め、また令和3年8月に施行された改正薬機法の視点から病診薬連携の将来について議論したいと考えます。

まず広島県安佐市民病院薬剤部の宮森伸一先生にご講演頂き、今後の電子処方せん導入に向けての病院の対応について理解を深めたいと考えます。シンポジウムでは、R3年8月に改正された薬機法に基づく「地域連携薬局」と「専門医療機関連携薬局」につきまして、行政の立場から、道保健福祉部医務薬務課の宮下正也先生に本制度の趣旨や意義について解説を頂きます。次に、道内でこの制度に積極的に取り組んでいる病院・薬局の代表として、ナカジマ薬局佐々木剛先生、JA帯広厚生病院佐藤弘康先生、まつもと薬局松本健春先生にそれぞれの立場からお話を頂き、その後、演者・会場一体となってディスカッションを行い、新制度への理解を深めたいと考えます。

本シンポジウムが病診薬連携を推進するための情報交換の場になれば、と期待しております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

1. 特別講演【2023年8月31日（木）14:00～15:00】

演 題	「電子処方せん導入による連携の形—現在から未来へ—」
講 師	宮森 伸一（地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立北部医療センター 安佐市民病院薬剤部 主任部長）
座 長	栗屋 敏雄（市立旭川病院 薬剤科長）

2. シンポジウム【2023年8月31日（木）15:00～17:00】

テーマ	「薬機法改定に伴う病診薬連携の在り方」
シンポジストI	「制度から読み取る薬局薬剤師と病院薬剤師の役割」 宮下 正也（北海道保健福祉部地域医療推進局医務薬務課 薬務係長）
シンポジストII	「①地域連携薬局の立場から」 佐々木 剛（ナカジマ薬局株式会社薬局事業部 課長 兼 在宅担当エリア長）
シンポジストIII	「②-1. 専門医療機関連携～病院の立場から」 佐藤 弘康（JA北海道厚生連帯広厚生病院薬剤部 薬局長代理）
シンポジストIV	「②-2. 専門医療機関連携～薬局の立場から」 松本 健春（株式会社まつもと薬局 代表取締役薬剤師）
座 長	上野 英文（砂川市立病院 薬剤部長）
座 長	後藤 仁和（市立札幌病院 薬剤部長）

テーマ

『新興感染症と臨床検査』

道立子ども総合医療・療育センター センター長
續 晶子



第61回全国自治体病院協議会学会 臨床検査部会は、2022年沖縄那覇から北の札幌にバトンタッチされました。第60回臨床検査部会のテーマの地域貢献では有益なディスカッションが交わされ、検査技術の伝達として専門性も大切ですが Specialist であっても Generalist であることも大切であること、自分たちから発信していくことの必要性が再確認されました。

さて北海道は全国に先んじて新型コロナウイルス感染症の第一波を経験し、その後消退増悪を繰り返しながら流行は収まらず北海道の感染動向を全国が注視するという状況が続いていることから、今回のテーマは新興感染症と臨床検査とさせていただきます。

特別講演Ⅰは、北海道臨床衛生検査技師会 総合管理部門長 磯辺正道先生に新型コロナウイルス感染症対策で益々必要になったタスクシフト／シェアについてご講演いただきます。先生はタスクシフト／シェアワーキンググループの委員長ですので、実践有益な情報をご提供いただけたと思います。

特別講演Ⅱは、北海道大学検査輸血部 山本雅史先生に呼吸機能検査の現状と対策についてご講演いただきます。緊急事態宣言後、エアロゾルが発生するリスクが高い呼吸機能検査件数が激減しており、新型コロナウイルス感染症が呼吸機能検査に与えた影響は大きいものでした。感染対策も含めてご指導いただけるものと思います。

特別講演Ⅲは、滝川市立病院 医療技術部 阿部隆先生から、新興再興感染症に対応した臨床検査部門についてご講演いただきます。原因がわかれば治療の道は近くなります。

細胞を有する微生物感染症のみならず、細胞を有さないまだ全貌が明らかではない新興感染症やますますやっかいになっている再興感染症を網羅して検査し原因究明する大きな働きについて教えていただけたと思います。

特別講演Ⅳは、札幌医大感染制御・臨床検査医学講座教授 高橋聡先生に with or after COVID-19 感染症対策について臨床検査の必要性と意義、機器や試薬の特徴、検査結果の解釈について解説いただき病院における検査部の位置づけについてご講演いただきます。

ポスターセッションでは全国各地から有益な発表がございます。

北海道の短い夏を存分に満喫していただきつつ、学会会場では皆様方から活発なご意見ご討議をいただき次の日から実践出来るメッセージをお持ち帰りいただければ幸いです。

涼しい札幌で皆さまを心よりお待ちしております。お気をつけてお越しください。

1. 特別講演Ⅰ【2023年9月1日（金）8：30～9：10】

演 題	「タスクシフト／シェアにおける北臨技の取り組み」
講 師	磯辺 正道（北海道臨床衛生検査技師会 総合管理部門長 タスクシフト／シェア WG 委員長）
座 長	二郷 元彦（市立旭川病院中央検査科 技師長）

2. 特別講演Ⅱ【2023年9月1日（金）9：10～9：50】

演 題	「新型コロナウイルス感染症が呼吸機能検査に与えた影響と感染対策の現状」
講 師	山本 雅史（北海道大学病院検査・輸血部 主任臨床検査技師）
座 長	吉野 伸昭（砂川市立病院医療技術部検査科 副技師長）

3. 特別講演Ⅲ【2023年9月1日（金）9：50～10：30】

演 題	「新興再興感染症に対応した臨床検査部門の構築～『細菌検査室』から『感染症検査室』へ～」
講 師	阿部 隆（滝川市立病院医療技術部 部長）
座 長	宮川 康宏（岩見沢市立総合病院医療技術部 部長）

4. 特別講演Ⅳ【2023年9月1日（金）10：30～11：30】

演 題	「感染症関連の臨床検査を確立するために」
講 師	高橋 聡（札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座 教授）
座 長	續 晶子（北海道立子ども総合医療・療育センター センター長）

テーマ

『変動の時代に対応する放射線部門 ～最先端技術の追求と業務拡大の狭間で～』

小樽市立病院 院長
有村 佳昭



新型コロナウイルスパンデミックがわれわれの生活様式を一変させたのは、まぎれもない事実であります。例えば、PCR 検査は、正にわれわれの世代にとってみれば、なくてはならない研究の一手法に過ぎませんでした。それが瞬く間に国民誰でも聞いたことがある新型コロナウイルス感染症診断法のゴールドスタンダードへ変貌しました。一方、stay home、オンライン診療などの行動制限は、就業および受療行動の変容をもたらしました。その結果、平時におけるデジタルトランスフォーメーション（Dx）の潮流をもたらし、僻地・遠隔地を含めた地域医療の未来のあり方の一方向性を示すものと期待されています。

パンデミックとは無関係な技術革新の代表例として、人工知能（AI）技術が挙げられます。AI は当初、単なる統計学上の一手法と認識されていたのも束の間、囲碁や将棋のプロ棋士に勝利するほどみるうちに発展を遂げ、われわれ人類を驚かせたことも記憶に新しいところです。医療界例えば放射線診断学の領域にもすでに AI 技術が応用されつつあり、今後もこの傾向はますます加速するものと予想されます。

少子高齢化、医療従事者の偏在、医師の働き方改革など地域医療を取り巻く状況は激変しつつあります。放射線診療もその例外ではありません。最先端技術の追求により、より一層、高度化、専門化された診療業務は、これらの激流に翻弄され拡大の一途をたどり、自治体病院の現場はその狭間に立たされている現状があります。

そこで本特別講演では、これらのテーマに関する取り組みをご紹介いただき、ご参集いただいた皆様と一緒に未来のあるべき放射線業務の姿について考えてみたいと思います。活発なご討論を期待して私の挨拶に代えさせていただきます。

1. 特別講演Ⅰ【2023 年 8 月 31 日（木）14：00～14：30】

演 題	「社会の変化と診療放射線技師」
講 師	上田 克彦（公益社団法人日本診療放射線技師会 会長）
座 長	畑中 康裕（市立旭川病院中央放射線科 技師長）
座 長	佐藤 孝生（公立芽室病院 診療技術科 科長）

2. 特別講演Ⅱ【2023 年 8 月 31 日（木）14：30～15：00】

演 題	「北海道における統一講習と告示研修」
講 師	大野 肇（公益社団法人日本診療放射線技師会 理事）
座 長	畑中 康裕（市立旭川病院中央放射線科 技師長）
座 長	佐藤 孝生（公立芽室病院 診療技術科 科長）

3. 特別講演Ⅲ【2023 年 8 月 31 日（木）15：00～16：00】

演 題	「地域の中小規模病院における後方支援病院との病病連携」
講 師	佐々尾 航（北海道立羽幌病院 副院長）
座 長	久保 光司（町立中標津病院 院長）

4. 特別講演Ⅳ【2023 年 8 月 31 日（木）16：00～17：00】

演 題	「道北北部医療連携ネットワーク（ポラリスネットワーク）を用いた遠隔医療の取り組み」
講 師	酒井 博司（名寄市立総合病院 副院長）
座 長	有村 佳昭（小樽市立病院 院長）

テーマ

『病院と地域を繋ぐ栄養管理』

市立室蘭総合病院 院長
高橋 典之



北海道では2018年9月6日胆振東部地震直後の全道ブラック・アウトに際し自治体病院の重要性が再認識されております。またこの広大な北海道を隔々まで医療と人々を繋ぐためには、地域の中核病院と在宅を繋ぐネットワークが重要となってきています。

2022年札幌で開催された第10回日本在宅栄養管理学会のテーマが「人生100年時代を在宅栄養が支える」が示すように、超高齢化社会の日本に於いてこれからますます栄養管理の在宅への介入が重要と考えます。また、栄養管理として医療者は様々な手段を持ち急性期治療を支えています、患者さんの精神的・栄養学的治療としても経口摂取が理想と考えます。

今回栄養分科会では「病院と地域を繋ぐ栄養管理」をテーマとし、特別講演Ⅰに北美原クリニック顧問の岡田晋吾先生に「在宅医療の現状と栄養士への期待」を、特別講演Ⅱに札幌医科大学医学部衛生学・口腔外科学講座兼任助教大橋伸英先生に「2025年問題を“健口”と“食力”から考える」を、特別講演Ⅲに東京医科大学病院栄養管理科科长宮澤靖先生に「栄養サポートが患者を、病院を、地域を変える」をご講演いただくこととなっております。

また、ポスターセッションには多くの方々の発表をお待ちしております。清々しい晩夏の北海道でお会いできることを期待しております。

1. 特別講演Ⅰ【2023年8月31日（木）14：00～15：00】

演 題	「在宅医療の現状と栄養士への期待」
講 師	岡田 晋吾（医療法人社団 守一会 北美原クリニック 顧問）
座 長	川本 雅樹（市立根室病院 院長）

2. 特別講演Ⅱ【2023年8月31日（木）15：00～16：00】

演 題	「2025年問題を“健口”と“食力”から考える」
講 師	大橋 伸英（札幌医科大学医学部衛生学講座・口腔外科学講座 兼任助教）
座 長	高橋 典之（市立室蘭総合病院 院長）

3. 特別講演Ⅲ【2023年8月31日（木）16：00～17：00】

演 題	「栄養サポートが患者を、病院を、地域を変える」
講 師	宮澤 靖（東京医科大学病院栄養管理科 科長）
座 長	中川 幸恵（天使大学看護栄養学部栄養学科 教授）

テーマ

『リハビリテーションの未来におけるオンライン支援の可能性 ～地域や住民との途絶えない繋がりを目指して～』

砂川市病院事業管理者
平林 高之



これまで、団塊の世代が後期高齢者に達する 2025 年問題、更には団塊ジュニアが 65 歳に達する 2040 年問題に向けて地域包括ケアシステムの整備が進められて来ています。しかしこうした中で、2019 年より未だ続く新型コロナウイルス感染症の拡大が、在宅勤務オンラインの導入・外出時のマスクの着用・3密を避ける・黙食が推奨されるなど、社会に大きな影響を及ぼしています。

とりわけ飛躍的な進展とともに普及してきた情報通信技術、オンラインの活用は、医療の分野でも学会・研修会・講習会、診察、会議など、対面形式からオンライン開催へと変革する、新たなツールとなりました。その中でも、感染の影響を考慮したことがきっかけで、オンライン診療は大きく進歩しています。移動時間・費用の節約、天候に影響されない、オンライン下であれば自宅で受診可能であることなど大きなメリットも得られます。

今回の分科会では、「遠隔リハビリテーションの意義と課題」を旭川医科大学病院の大田哲生先生にご講演いただき、シンポジウムでは実際にオンラインを活用して行われているリハビリテーションを、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士それぞれの立場からお話していただきます。リハビリテーション分科会ではここ数年、地域包括ケアシステムの構築や地域におけるリハビリテーションについて多く取り上げられてきました。今後のオンラインの活用はこれらに対して新たな可能性を見出すことに繋がるのではないのでしょうか。当日は参加される皆様と、忌憚のないディスカッションが出来ることを楽しみにしております。

1. 基調講演【2023 年 9 月 1 日（金）8：30～9：30】

演 題	「遠隔リハビリテーションの意義と課題」
講 師	大田 哲生（旭川医科大学病院リハビリテーション科 教授）
座 長	平林 高之（砂川市病院事業管理者）

2. シンポジウム【2023 年 9 月 1 日（金）9：30～11：30】

テーマ	「オンライン支援 それぞれの立場から」
シンポジストⅠ	「オンライン支援を活用したリハビリテーションの可能性」 呂 隆徳（旭川医科大学病院リハビリテーション部 技士長）
シンポジストⅡ	「地域作業療法におけるオンラインの活用例」 野村 健太（目白大学保健医療学部作業療法学科 専任講師）
シンポジストⅢ	「オンラインで展開する新しい言語療法」 西村 紀子（株式会社くるみの森 代表）
座 長	小岩 伸之（八雲総合病院リハビリテーション室 室長）

テーマ

『未来へ～CEとして持続可能な医療提供体制を考える～』



滝川市立病院 院長
松橋 浩伸

新型コロナウイルスの流行から3年。北海道は、冬を迎えて第8波の渦中にあり、未だに今後の展望が見通せない状況です。しかし、With コロナの時代を見据えて、感染拡大の防止と社会経済活動の両立の方針が示され、我々医療者にも（一般社会の認識との乖離に苦しみつつも）、前向きな姿勢が求められています。全国自治体病院学会もまた、対面形式での開催を目指しております。

そんな中、臨床工学分科会では、臨床工学技士が次世代の医療にどのように貢献出来るかを考え、未来のより良い医療に向けて一歩でも前進できる機会にしたいと考えています。医学の分野では、ゲノム医療、遺伝子治療、AI（人工知能）やICT（情報伝達技術）の進歩により、無限の可能性を追っている状況にあります。また臨床工学技士の専門である医療機器の分野も、科学や技術開発により、時代のニーズに合わせ大きく進歩しており、次世代への教育を含めた業務の移行を進めなければならないと実感しております。

近年は、遠隔医療の一つとして、患者から離れた病院にいる医師が、支援ロボットを遠隔操作して手術を支援する技術など、通信技術やロボット性能の向上や地方における外科医不足などを背景に、社会状況に沿った取り組みが進められています。そのガイドラインでは、遠隔手術支援に関わる手術スタッフの要件にも臨床工学技士の役割が明記され、チーム医療のメンバーとして技術取得が期待されています。また、2024年度に始まる医師の働き方改革に関して、臨床工学技士が、臨床工学技士法の改正による業務範囲の追加により、医師のタスク・シフト／シェアにどのように貢献することが出来るかを考え、医療体制を支える検討をしていかなければならない時期にきています。「いのちを支えるエンジニア」として、自らの業務を拡大し、適切な地域医療の維持・確保、医療安全のさらなる向上を目指すことを期待しています。

是非、多くの方に足をお運びいただき、交流、議論を深めていただきますよう、開催のご案内を申し上げます。多くの参加者の皆さまと会場にて、情報交換できることを楽しみにしています。

1. シンポジウム【2023年9月1日（金）8：30～10：30】

テーマ	「タスクシェアシフトはどこまで進んだか？どう進むべきか？」
シンポジストⅠ	「臨床工学技士を病院内で活用するために～いざ！臨床の最前線へ～」 北本 憲永（聖隷浜松病院 臨床工学室 室長）
シンポジストⅡ	「タスクシフトにおける現状と課題—臨床工学技士（CE）による麻酔補助業務の実態と展望—」 小西 康司（奈良県立医科大学附属病院 医療技術センター 副技師長）
シンポジストⅢ	「タスクシフトと臨床工学技士の教育」 千原 伸也（日本医療大学保健医療学部 臨床工学科 学科長 教授）
シンポジストⅣ	「心臓カテーテル業務におけるタスクシフト／タスクシェア～今までとこれから～」 平田 和也（小樽市立病院 臨床工学科 主幹）
座 長	菊池 雄一（岩手県立中央病院 臨床工学技術科 技師長）
座 長	進藤 尚樹（市立札幌病院 臨床工学科 担当課長）

2. 特別講演【2023年9月1日（金）10：30～11：30】

テーマ	「地域医療を支えるための遠隔医療～CEに期待される業務～」
演 題	「手術の進歩と臨床工学技士の役割—遠隔手術の社会実装を見据えて—」
講 師	平野 聡（北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室Ⅱ 教授）
座 長	松橋 浩伸（滝川市立病院 院長）
座 長	太田 稔（北海道大学病院 ME 機器管理センター副部長）

テーマ

『病院経営の本質を考える』

名寄市病院事業管理者
和泉 裕一



少子高齢社会の到来と、時を同じくして新型コロナウイルス感染症の出現により、私たちの医療を取りまく環境は大きく変化を続けており、国からの補助金などにより従来の経営の赤字体質を一時的に脱したものの、医師の働き方改革や地域医療構想など、地域の実態を反映した上での変化の先行きは不透明であると言わざるを得ません。

従来にも増して経営の指標をしっかりと定め、地域住民と方向性を共有したなかで「求められる持続可能な地域医療のあるべき姿」を構築していく必要があります。

分科会Ⅰにおいては、公立邑智病院で副院長兼事務部長の日高武英氏を講師に「自治体病院経営を考える事務部門の質の向上」を演題としてシンポジウムを開催します。2019年、全国自治体病院協議会事務部会内に「中小病院の経営を考える事務プロジェクトチーム」が設けられており、4年間の振り返りと今後の展望を議論します。

分科会Ⅱにおいては、高崎健康福祉大学准教授の木村憲洋氏による特別講演「病院経営の本質」の後に、経営資源として重要な「モノ・人・情報」について、「新しい経営資源管理」と題してシンポジウムを開催します。

さらには、全国自治体病院協議会の医療の質の評価・公表等推進事業では「医療の質と医療安全」をテーマにシンポジウムを行います。

1. シンポジウムⅠ【2023年8月31日（木）14:00～15:30】

テーマ	「自治体病院経営を考える事務部門の質の向上」
講師	「中小病院の経営を考える事務プロジェクトチームの活動」 日高 武英（公立邑智病院 副院長兼事務部長）
コメンテーター	西科 純（公立芽室病院 事務長）
コメンテーター	林 誠（所沢市市民医療センター 事務部長）
コメンテーター	日野 千晶（公立邑智病院企画調整課 係長）
座長	未定

2. 特別講演【2023年9月1日（金）8:30～9:30】

演題	「病院経営の本質を考える」
講師	木村 憲洋（高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科 准教授）
座長	和泉 裕一（名寄市病院事業管理者）

3. シンポジウムⅡ【2023年9月1日（金）9:30～11:30】

テーマ	「新しい経営資源管理」
シンポジストⅠ	「地域における医師の養成確保戦略と地域医療構想のリアル」 松本 晴樹（新潟県福祉健康部 部長）
シンポジストⅡ	「課題解決における情報の活用事例—改定病院機能評価（3rdG：Ver.3.0）から考える—」 久保田 巧（一般社団法人上尾中央医科グループ協議会 総局長）
シンポジストⅢ	「診療材料ベンチマークシステムを活用した経営資源・コスト管理」 島田 和明（市立千歳市民病院 事務局長）
座長	木村 憲洋（高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科 准教授）

4. 医療の質の評価・公表等推進事業シンポジウム【2023年9月1日（金）10:00～11:30】

テーマ	「医療の質と医療安全」
シンポジストⅠ	「QIを用いた医療の質改善：経緯と課題」 福井 次矢（東京医科大学茨城医療センター 院長）
シンポジストⅡ	「医療の質と医療安全—院内への指標可視化の次に—」 星田 四朗（八尾市立病院 総長）
シンポジストⅢ	「医療の質と医療安全における精神科リエゾンサービスの役割（仮）」 和田 健（広島市立広島市民病院精神科 主任部長）
座長	岡田 俊英（石川県立中央病院 院長／臨床指標評価検討委員会 委員長）
座長	長尾 真理子（埼玉県立精神医療センター 院長／臨床指標評価検討委員会 副委員長）

テーマ

『「安心して生活できる未来のために」
～地域医療連携がいま考えること～』

市立函館病院 院長
森下 清文



可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるために、医療連携・介護連携など多職種での連携体制を整備しながら、各地域で地域包括ケアシステムの構築が進められてきていましたが、新型コロナウイルス感染症によって、連携体制を協議する機会もなかなか作れないという状況となっていました。しかし、こういう時期だからこそ連携は重要になるということも事実であります。

その様な中でも、構築していかなければならない地域包括ケアは、多職種での連携や機能分化にとどまらず、行政との連携、そして住民との協働など、地域でのあらゆる連携が必要となっており、それらがまちづくりへとつながっていると思っております。

今回、地域医療・連携・福祉分科会では、「安心して生活できる未来のために」をテーマに掲げ、地域でのあらゆる連携が、「おらが街のまちづくり」へとつながっていくということをあらためて考えてみました。

特別講演では、「地域医療連携から医療介護連携、そして社会連携へ」と題し、宮崎県立日南病院 診療部・臨床検査科主任部長（兼）診療部・病理診断科主任部長（兼）患者支援センター・センター長（兼）医療管理部・感染管理科主任部長の木佐貫篤先生に今まで構築してきた医療連携、介護連携に加え、社会との連携が重要になるということについてご講演いただきます。シンポジウムでは、「未来への一步」～地域連携からはじまるまちづくり～をテーマに、各地域の多くの分野でご活躍されている4名の方をシンポジストとしてお招きし、地域包括ケアを支えているICTの利活用や色々な立場から見える・考えられる地域連携とまちづくりの関係についてお話しいたします。参加する皆さんとのディスカッションによりあらためて考え、その街に合ったまちづくりの一助になれば幸いです。

時期的にも過ごしやすい北海道ですので、是非多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

1. 特別講演【2023年8月31日（木）14:00～15:15】

演 題	「地域医療連携から医療介護連携、そして社会連携へ」
講 師	木佐貫 篤（宮崎県立日南病院患者支援センター センター長）
座 長	森下 清文（市立函館病院 院長）

2. シンポジウム【2023年8月31日（木）15:15～17:00】

テーマ	『「未来への一步」～地域連携からはじまるまちづくり～』
コメンテーター	木佐貫 篤（宮崎県立日南病院患者支援センター センター長）
シンポジストI	「地域医療と街づくり～総合診療医の目線で～」 石川 晶（道東勤医協釧路協立病院 副院長）
シンポジストII	「地域連携の施策で進める『共に考える・心かよう地域医療』」 十河 浩史（倉敷中央病院リバーサイド 事務長）
シンポジストIII	「地域包括ケアシステムを支えるICTの仕組み作り」 守屋 潔（名寄市立総合病院情報管理センター センター長）
シンポジストIV	「利用者のペイン解消に役立つICT機器・データの活用法」 須田 万勢（諏訪中央病院リウマチ・膠原病内科医長／茅野市DX推進室 DX推進幹）
座 長	中村 雅則（市立札幌病院 副院長／地域連携センター長）
座 長	町田 正晴（苫小牧市立病院 副院長／地域医療連携室長）

テーマ

『コロナ禍をいきる、コロナ禍をいかす』

岩見沢市立総合病院 院長
小倉 滋明



精神科領域の2つの分科会は、「コロナ禍をいきる、コロナ禍をいかす」というテーマで開催いたします。地域医療・連携・福祉分科会（精神科領域）では、特別講演を開催します。

精神病床はひとたびウイルスが持ち込まれれば、クラスター化しやすい特徴を持つ場所の一つであり、全国的にも多くのクラスターが報告されています。こうした院内感染による大規模クラスターはある種災害との共通点があげられており、実際、DMAT、DPATが一定の役割を果たした事例が報告されています。

本講演では北海道 DPAT 統括者である北海道大学医学部精神医学講座の成田尚先生をお招きし、精神科におけるクラスターと災害対応について論じていただきます。

私自身、コロナ禍にあって感染者数の増減に一喜一憂することばかりでした。増加傾向を見せ始めると緊張、不安が高まり、ピークアウトするとホッとする。こうしたことが何度となく繰り返されてきました。この機会にひとたび立ち止まり、お話をうかがい、みなさんとともに考え、この先に向けた展望や残すべき教訓などについて考えたいと思っています。

1. 特別講演【2023年9月1日（金）10:00～11:30】

テーマ	「北海道における DPAT の現状と課題（仮）」
講師	成田 尚（北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野精神医学教室 助教）
座長	小倉 滋明（岩見沢市立総合病院 院長）
座長	高丸 勇司（小樽市立病院 副院長）

1. 総会特別講演Ⅰ（道民公開講座）【2023年9月1日（金）13:00～13:45】

演 題	「未定」
講 師	北海道出身タレント（予定）
座 長	小倉 滋明（岩見沢市立総合病院 院長）

2. 総会特別講演Ⅱ（道民公開講座）【2023年9月1日（金）13:45～14:30】

演 題	「未定」
講 師	北海道に縁のある人物（予定）
座 長	石田 博英（八雲総合病院 院長）

3. 総会特別講演Ⅲ（道民公開講座）【2023年9月1日（金）14:30～15:30】

演 題	「自治体病院と『地球の健康、社会の健康、人間の健康』」
講 師	寶金 清博（国立大学法人北海道大学 総長）
座 長	松岡 伸一（苫小牧市立病院 院長）

国立大学法人北海道大学 総長
寶金 清博



コロナ禍の中で、医療・医学と社会の関係が改めて問われています。医療・医学もDX化が急速に進み、大きな転換点にきています。

また、社会活動が、集中から分散に方向転換し、ICTの進歩やDXの進展により、地域での医療・医学もそうした大きな変化の影響を受けています。

さらに、日本における地域創生や世界の大きなベクトルであるSDGs、ゼロカーボン、多様性に満ちた社会、包摂的社会などの動きは、コロナ禍でも減速することなく、むしろ加速しています。これらは、医療・医学に対しても大きな影響を与えるものです。

本講演では、「地球の健康、社会の健康、人間の健康」の観点から、自治体病院の役割を一緒に考えてみたいと思います。これは、コロナ禍の教訓を経て、次の時代に向かう、医療・医学と社会の関係を世界、地域社会、個人のレベルで考え直すことでもあります。

考えるレベルを以下の3つのレベルとしてみました。

- ①世界のレベル（地球の健康）
- ②地域社会のレベル（社会の健康）、
- ③個人のレベル（人間の健康）、

私達医療者は、これまで、③の観点から「健康」を診てきました。それは今後も変わらない最も重要な観点です。しかし、これに加えて、今後は、①と②が必須のものになると思います。

その基盤には、ESG（環境、社会、ガバナンス）の立場から、世界の共通の価値観であり目標であるSDGsとゼロカーボンを目指すアカデミア全体の一員としての医療・医学の責任があります。こうしたポストコロナの社会構築、持続可能な世界に向けて、私達医療者のできること、そして、なすべきことを考える機会としたいと思います。

1. 事前参加登録受付期間

2023年2月27日(月)～6月30日(金) 正午

2. 学会参加費

(1) ①一般 12,000 円 (当日参加費は 13,000 円)

・プログラム・抄録集代を含みます。

※できるだけ事前参加登録をお願いいたします。

②学生 (大学・看護・医療系専門学校の学生及び初期研修医) 無料・当日登録のみ

・プログラム・抄録集が必要な方は、学会当日会場にて 2,000 円で販売いたします。

・学生の方は、ランチョンセミナー、交流会の参加は出来ません。

(2) 交流会参加費 7,000 円

日 時 : 1 日目 2023 年 8 月 31 日 (木) 18:00～20:00 (予定)

会 場 : 札幌パークホテル

〒064-8589 札幌市中央区南 10 条西 3 丁目 1 番 1 号

TEL: 011-511-3131 (代表)

※定員により申し込みを締め切らせていただく場合がございますので予めご了承ください。

※交流会参加証をお持ちでない方は、会場にお入りいただけません。

3. 参加申込方法・区分

事前参加登録は、インターネットにてオンライン登録をお願いいたします。

申し込み URL <https://va.apollon.nta.co.jp/jmha61/>

本システムをご利用の方は、以下のブラウザをご利用ください。

Microsoft Internet Explorer 11 以降 (Windows)

Safari 11 以降 (Macintosh)

Google Chrome 70 以降 (Windows, Macintosh)

Mozilla Firefox 63 以降 (Windows, Macintosh)

※ JavaScript を許可するように設定してください。

・締切当日はアクセスが集中し、登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持ってご登録ください。

・応募者自身が間違えて入力した内容につきましては、事務局では一切責任を負いません。

登録ボタンを押す前に、必ず内容に間違いがないかどうかをご確認ください。

【参加申込区分】

参加種別	申込方法	支払方法	事前送付物	当日会場での受付
事前登録	オンライン	銀行振込・ コンビニ決済・ クレジット	参加証・領収証、プロ ラム・抄録集等	不要
当日登録	札幌コンベンション センター	現金のみ	なし	申込書記入、参加費納入、参 加証・領収証発行、プロ ラム・抄録集等受取

※学生の方の申し込み方法は、当日登録のみとなります。

プログラム・抄録集が必要な方は、学会当日会場にて 2,000 円で販売いたします。

【団体登録について】

- ・同一病院・施設内の複数名分の学会参加・交流会のお申し込みを、まとめて登録することができます。
- ・団体登録は、登録者の中から1名代表者（連絡担当者）を決定して代表者の方が登録をしてください。ご参加されない方を代表者（連絡担当者）にすることはできませんのでご注意ください。代表者（連絡担当者）を通じて一括登録、一括入金、ネームカード・抄録集等の一括発送をさせていただきます。
- ・団体登録の各個人宛への個別送付は対応いたしかねますのでご了承ください。個別に発送をご希望される場合は、個人登録をご利用ください。
- ・団体・個人での二重登録には十分ご注意ください。

4. 参加分科会区分

お申し込みの際には、参加を予定する分科会名を以下より1つご選択ください。

※該当する分科会が複数ある場合も、以下より1つご選択ください。

- | | | |
|-----------------|-----------|------------|
| A：看護・看護教育分科会 | B：臨床医学分科会 | C：薬剤分科会 |
| D：臨床検査分科会 | E：放射線分科会 | F：栄養分科会 |
| G：リハビリテーション分科会 | H：臨床工学分科会 | I：経営・管理分科会 |
| J：地域医療・連携・福祉分科会 | | |

5. お申し込みの流れ

【事前参加登録】

- (1) 本学会ホームページの「参加登録」から案内に従ってご登録ください。
- (2) 事前参加登録完了後、登録内容が登録されたメールアドレスに配信されます。
 - ・返信がない場合
 - 1) メールアドレスの誤入力がかかります。
 - 2) 迷惑メール等のフォルダーに入っていないかご確認ください。
*ご自身のPCの設定をご確認ください。
 - 3) 上記を確認して24時間経過しても届かない場合は、オフィシャル・トラベルエージェント（P.4）までご連絡ください。
 - ・他者と同じE-mailアドレスの使用はおやめください。
 - ・携帯アドレスもご利用しないでください。
- (3) 申込内容変更・取消について
受付締切日（6月30日）まではWEB上で変更できます。自身で操作してください。
- (4) お支払方法
銀行振込・コンビニ支払・クレジットカード払いからお選びいただけます。
詳しくは学会ホームページにてご確認ください。
振込期限：2023年7月10日（月）
ご登録は、ご入金の確認をもって完了となります。
期限までにご入金が確認できない場合、事前参加登録が取消となり、当日登録をしていただくこととなりますので、ご注意ください。
※お振り込みはご登録後なるべくお早めをお願いいたします。
- (5) 請求書・領収書
請求書はWEB上で発行できますので自身で操作してください。
事務局では請求書の発行はいたしません。
- (6) 送付物
事前参加登録をされた方には、入金確認後、8月中旬（予定）に申込者（代表者）宛に以下の物をご送付いた

します。

- ・学会参加証（領収書）
- ・プログラム・抄録集

- ・交流会参加証（※お申し込みいただいた方のみ）
- ランチョンは未定

【当日参加登録】

札幌コンベンションセンター1階受付前に設置しております申込書に予め必要事項をご記入の上、受付にてお手続きください。

参加費のお支払いは、現金のみにて受け付けております。

6. 取消料について

お申し込み後、止むを得ずご参加を取り消される場合には、下記の取消料を申し受けます。

受付締切日（6月30日）まではWEB上で変更できます。自身で操作してください。

※お電話およびFAXでの変更・取消は、受付いたしません。

取消期間	学会参加費	交流会参加費	備考
2023年6月30日まで	取消料なし	取消料なし	プログラム・抄録集等は送付しません
2023年7月1日以降	参加費全額	参加費全額	プログラム・抄録集等は送付します

7. ランチョンセミナーについて

本学会では、ランチョンセミナー（昼食付）を企画しております。参加される場合には参加券が必要となります。ランチョンセミナーの参加券は、下記の要領にて配布いたします（参加券は参加証に添付されている引換券との交換になります）。数に限りがございますので、お早めにご来場ください。

■配布場所：札幌コンベンションセンター 1階

■配布日時：8月31日（木） 8:00～11:00（予定）※規定枚数に達し次第、終了
9月1日（金） 8:00～11:00（予定）※規定枚数に達し次第、終了

※会場には参加券をお持ちの方から優先的にご入場いただけます。

※参加券は、ランチョンセミナー開始後に無効とさせていただきます。

8. 託児所について

本学会では託児所のご用意はございません。

9. 巡回バスについて

地下鉄「東札幌駅」から「札幌コンベンションセンター」の間で巡回バスをご用意します。

時間等は学会HPに掲載しますのでご確認ください。（7月位を予定）

10. 参加登録 お問い合わせ

株式会社日本旅行北海道苫小牧支店

「第61回全国自治体病院学会」受付デスク

〒053-0022 苫小牧市表町1丁目4-5 NCビル1階

TEL：0144-32-6467 FAX：0144-32-6471

E-mail：jmha61@nta.co.jp

〈お問い合わせ受付時間〉月曜～金曜 10:00～17:00（土日祝日は休業）

一般演題（ポスターセッション）を公募いたします。
多数の皆様の申し込みをお待ちしております。

演題募集期間

2023年2月27日（月）～4月30日（日）

1. 発表形式

ポスター発表（発表5分、質疑応答2分）

本学会では、一般演題はすべて「紙ポスター」での発表となります。

会場では、紙ポスターを閲覧用として掲示していただき、発表、質疑応答を行います。

従来の「デジタルポスター」での発表は行いません。

※詳しくは、本学会ホームページをご参照ください。

2. 演題発表申し込み方法

・演題発表申し込みはすべてオンライン演題登録にて受け付けます。

登録された演題は、演題発表申し込み締切日までオンライン上で修正、削除することができます。

申し込み URL <https://jmha.conf.it.atlas.jp/login>

【注意事項】

- ・演題発表申し込みをされる方は、必ず事前参加登録申し込みをしてください。
- ・毎月第2木曜日、日中にシステムをメンテナンス停止させていただく場合がございます。
- ・締切当日はアクセスが集中し、登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持ってご登録ください。
- ・応募者自身が間違えて入力した内容につきましては、事務局では一切責任を負いません。
登録ボタンを押す前に、内容に間違いがないかをご確認ください。
- ・演題の採択、および発表分科会等の決定は学会長に一任願います。
ご希望に沿えない場合もございますが、ご了承ください。

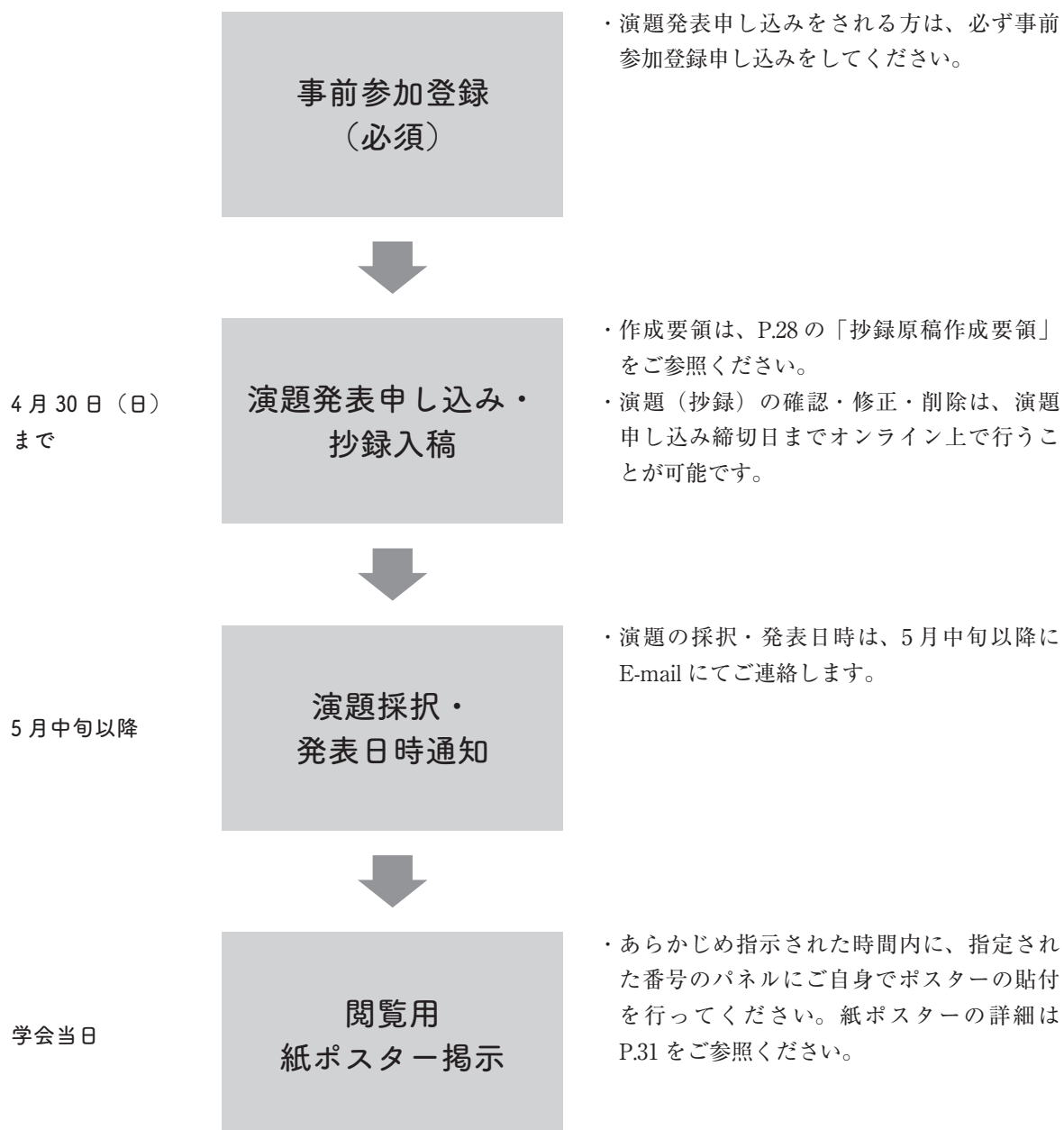
※ご利用可能なブラウザとバージョン：

- ・Firefox 最新バージョンを推奨
- ・Google Chrome 最新バージョンを推奨
- ・Internet Explorer 最新バージョンを推奨
- ・Microsoft Edge 最新バージョンを推奨
- ・Safari 最新バージョンを推奨

3. 演題発表申し込みから発表当日までの流れ

※ポスターセッションについては、P.30にも記載しておりますので、ご参照ください。

※最新情報は、本学会ホームページに掲載いたします。



4. 抄録原稿作成要領

(1) 発表希望分科会

発表希望分科会を以下から選択してください。

A：看護・看護教育分科会

A-1 急性期看護	A-2 がん看護	A-3 救急・災害看護
A-4 看護管理	A-5 情報管理	A-6 外来看護
A-7 認知症看護	A-8 精神看護	A-9 在宅看護
A-10 小児看護	A-11 母性看護	A-12 慢性期看護
A-13 看護教育	A-14 看護業務改善	A-15 感染管理
A-16 医療安全	A-17 チーム医療	A-18 看護倫理

B：臨床医学分科会

B-1 感染症	B-2 専門医制度	B-3 医師の働き方改革
B-4 医療安全・医療の質	B-5 医療連携	B-6 災害時医療
B-7 自由演題		

C：薬剤分科会

C-1 医薬品調整	C-2 医薬品管理	C-3 医薬品情報
C-4 医療安全	C-5 薬物治療	C-6 がん化学療法
C-7 抗菌化学療法・感染制御	C-8 精神科領域	C-9 チーム医療
C-10 薬剤管理指導	C-11 病棟薬剤業務	C-12 医療経済
C-13 薬薬連携	C-14 教育研究	C-15 治験・臨床試験
C-16 経営	C-17 その他	

D：臨床検査分科会

D-1 管理・運営	D-2 輸血	D-3 免疫
D-4 生化学	D-5 血液	D-6 一般
D-7 病理	D-8 細胞診	D-9 微生物
D-10 生理	D-11 チーム医療	D-12 その他

E：放射線分科会

E-1 X線検査	E-2 CT検査	E-3 MRI検査
E-4 血管撮影	E-5 核医学検査	E-6 放射線治療
E-7 放射線管理	E-8 医療情報管理	E-9 その他

F：栄養分科会

F-1 糖尿病	F-2 がん・緩和	F-3 摂食・嚥下障害
F-4 周術期栄養管理	F-5 早期栄養介入	F-6 リハ栄養
F-7 栄養食事指導	F-8 災害時栄養管理	F-9 地域連携・在宅
F-10 チーム医療	F-11 給食管理	F-12 その他

G：リハビリテーション分科会

G-1 管理・運営	G-2 調査・統計	G-3 高次脳機能障害
G-4 神経系疾患	G-5 内部障害	G-6 骨関節系疾患
G-7 がんリハビリ	G-8 摂食・嚥下	G-9 生活環境支援
G-10 小児リハビリ	G-11 地域リハビリ	G-12 ロボットリハビリ
G-13 その他		

H：臨床工学分科会

H-1 呼吸	H-2 循環	H-3 代謝
H-4 医療機器管理	H-5 手術	H-6 その他

I：経営・管理分科会

I-1 病院経営	I-2 運営管理	I-3 医療の質管理
I-4 リスクマネジメント	I-5 情報システム	I-6 患者サービス
I-7 その他		

J：地域医療・連携・福祉分科会

J-1 入退院支援・入退院調整	J-2 地域医療ネットワーク	J-3 ICT地域医療ネットワークシステム
J-4 がん相談・支援	J-5 地域包括ケア・在宅医療	J-6 地域・住民との連携
J-7 ソーシャルワーク実践	J-8 チーム医療	J-9 その他

- (2) 共同研究者はスペースの関係上、最大9名（演題発表者を含む）としてください。
- (3) 共同研究者の所属が異なる場合は、原則として合計で最大5施設としてください。
- (4) 演題名は全角60文字以内で簡潔にまとめて作成してください。なお、英数字は半角2文字を全角1文字と換算いたします。
- (5) 抄録本文は全角1,000文字以内とし、内容は【目的】、【方法】、【結果】、【結論】の順に必ず項目を立てて記述してください。なお、英数字は半角2文字を全角1文字と換算いたします。
- 図表をご登録する場合は抄録本文の文字数は670文字以内となりますので、ご注意ください。
- (6) 抄録本文作成上の注意
- ・抄録本文は、最初にご自身のPCのソフトで作成し、コピー機能を使って貼り付けされることをお勧めします。
 - ・先頭行も1マスあけずに左詰めで記入してください。

5. お問い合わせ

株式会社プランニング・ホッコー

〒007-0805 北海道札幌市東区東苗穂5条1丁目6-33

TEL：011-780-5577 / FAX：011-780-5588

E-mail：6ljmha@ec-ph.jp

〈お問合せ受付時間〉月曜～金曜 10：00～17：00（土日祝は休業）

1. 発表形式について

ポスター発表（発表5分、質疑応答2分）

発表者は会期中、会場内のご自身のポスターに所定の時間帯にお立ちいただき、発表・質疑応答を行います。

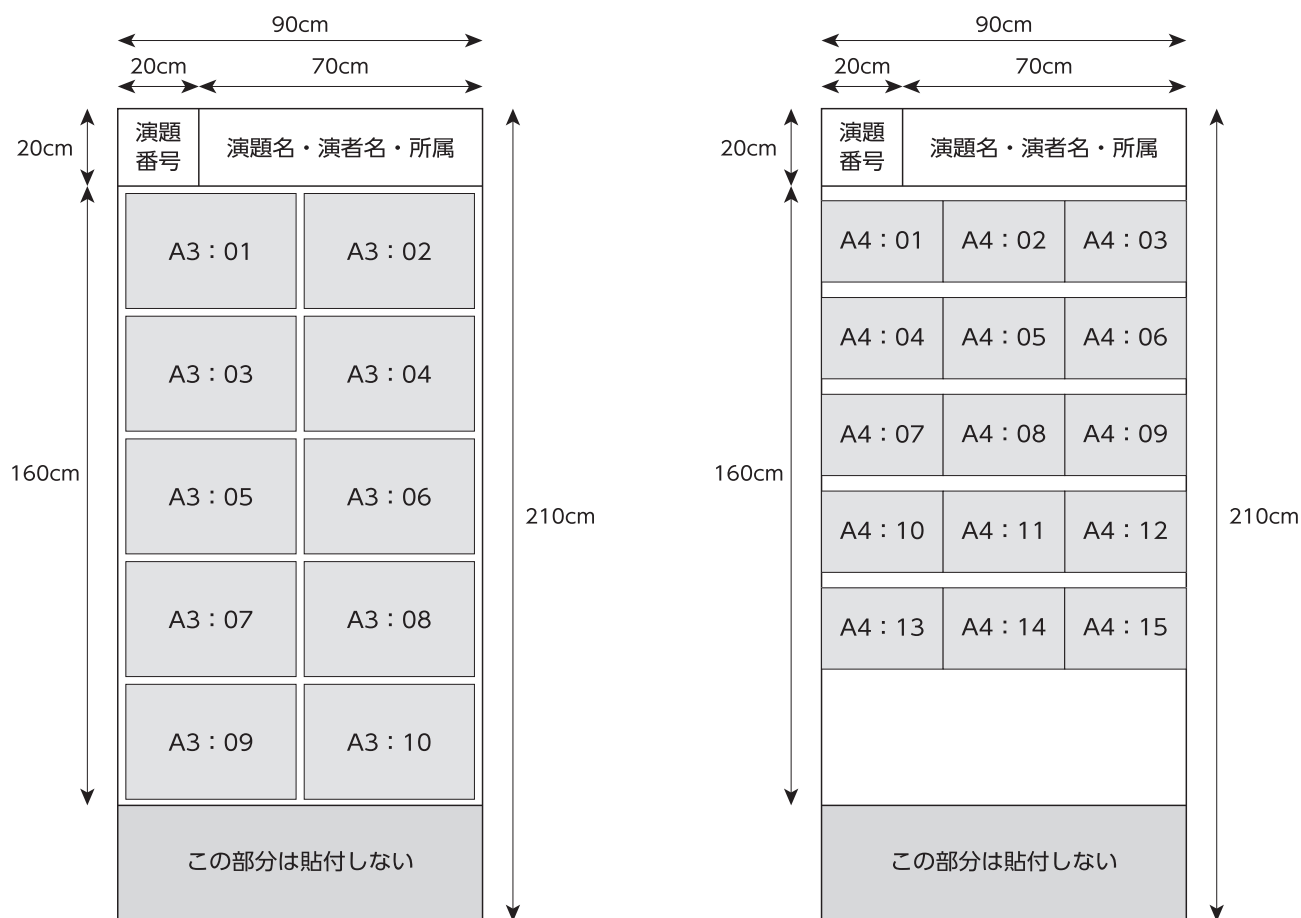
ポスターセッション閲覧イメージ



2. 閲覧用 紙ポスターについて

- ・演題ごとに下記のような大きさのパネルを用意いたします。あらかじめ指定時間内に、指定された演題番号のパネルにご自身で紙ポスターの貼付を行ってください。
- ・本学会は1日ごとに貼り替える形式といたしますので、掲示・撤去は、指定時間内に各自の責任にてお願いいたします。また、撤去時間以降に残っているポスター等は、事務局にて処分いたしますので、予めご了承ください。

紙ポスターパネルイメージ



- ・パネル左上の演題番号は、事務局で用意いたしますので、その右側に演題名・演者名・所属を表示してください。
- ・紙ポスターは A3 : 10 枚または A4 : 15 枚程度で作成をお願いいたします。パネルのサイズに準拠していただければ、長尺用紙での掲示も可能です。
- ※ポスターパネルの詳細については、学会ホームページをご参照ください。

2023年8月31日（木）・9月1日（金）の2日間、札幌市にて開催されます。

上記学会のご宿泊およびエクスカーションを㈱日本旅行北海道苫小牧支店が担当させていただきます。

何卒ご用命賜りますようお願いいたします。

なお、札幌市内のホテルは十分に確保させていただきましたが、夏の北海道は全国から多くの方がお越しになる繁忙期のため混雑することが予想されております。お申込が遅れますとお手配出来ない可能性もございますのでご宿泊をご希望の方は大会申込ホームページよりお早めの申込をお勧めいたします。

1. 宿泊のご案内

宿泊期間 2023年8月30日（水）、8月31日（木）、9月1日（金） 3日間

旅行代金 1泊朝食付（サービス料・税込）の一人様あたりの金額です。

NO	ホテル名	エリア	客室タイプ	宿泊日 お一人様料金（1泊朝食付き）		
				8/30（水）	8/31（木）	9/1（金）
1	ANA クラウンプラザホテル札幌	札幌駅	シングル	18,500	18,500	23,500
			ツイン	12,000	12,000	15,000
2	三井ガーデンホテル札幌	札幌駅	シングル	16,500	16,500	16,500
3	KOKO HOTEL 札幌駅前	札幌駅	シングル	15,000	15,000	17,000
4	ホテルマイステイズ札幌アスペン	札幌駅	シングル	12,500	12,500	13,500
			ツイン	10,000	10,000	10,500
5	ホテルマイステイズ札幌北口	札幌駅	シングル	12,000	12,000	13,000
6	札幌ワシントンホテルプラザ	札幌駅	シングル	11,200	11,200	11,200
7	ホテルルートイン札幌駅前北口	札幌駅	シングル	12,500	12,500	12,500
8	東横イン 札幌駅北口	札幌駅	シングル	10,100	10,100	10,100
9	ニューオータニイン札幌	大通	シングル	18,000	20,500	20,500
			ツイン	13,000	15,500	15,500
10	札幌グランベルホテル	大通	シングル	19,000	19,000	19,000
11	札幌ビューホテル 大通公園	大通	シングル	18,500	18,500	18,500
			ツイン	15,200	15,200	15,200
12	Tマークシティホテル札幌大通	大通	シングル	11,400	11,400	11,400
13	ホテルアベスト札幌	大通	シングル	10,300	10,300	10,300
14	札幌グランドホテル	大通	シングル	22,000	22,000	24,500
			ツイン	11,500	11,500	12,800
15	札幌プリンスホテル	大通	シングル	21,800	21,800	24,400
			ツイン	11,500	11,500	12,800
16	ホテルルートイン札幌中央	大通	シングル	9,800	9,800	9,800
17	ダイワロイネットホテル札幌すすきの	すすきの	シングル	13,600	13,600	13,600
18	レンブラントスタイル札幌	すすきの	シングル	12,000	12,000	12,000
19	Tマークシティホテル札幌	すすきの	シングル	11,200	11,200	11,200
20	東横イン 札幌すすきの交差点	すすきの	シングル	11,000	11,000	11,000
21	ホテルマイステイズプレミア札幌パーク	中島公園	シングル	16,900	16,900	18,100
			ツイン	13,600	13,600	14,700
22	ダイワロイネットホテル札幌中島公園	中島公園	シングル	13,600	13,600	13,600
23	ベッセルイン札幌中島公園	中島公園	シングル	13,000	13,000	13,000
24	札幌エクセルホテル東急	中島公園	シングル	19,200	19,200	19,200
			ツイン	14,500	14,500	14,500

●受付は先着順とさせていただきます。申込多数の場合はお受けできない場合もございます。

その際は上記以外のホテルをご案内させていただく場合もございます。

※お取扱期間外のご宿泊を希望される場合はお気軽にお問合せ下さい。

第61回自治体病院学会専用エクスカーションをご用意させていただきました。
お申込みは学会ホームページからお願いいたします。

また、9月1日の半日コースは開催自治体苫小牧市の魅力をご見学いただける本学会特別ツアーとなっております。北海道の中でも冷涼な苫小牧市にお越しいただき快適さを実感下さい。

A【特別企画!!】 9月1日午後発／苫小牧人気スポット巡り～うれしい特典付き♪～

- 旅行期日 9月1日（金）
- 旅行代金 開催自治体ツアー特別価格 2,000円（税込）
- 募集人員 限定 80名（最小催行人員 15名）
- 添乗員 同行いたします。
- 費用に含まれるもの バス代、有料道路代、見学科、添乗員費用、乗務員費用
- 費用に含まれないもの 飲食代など個人的な費用

※ツアー時に苫小牧市観光PR動画へのご協力をお願いする場合がございます。

行程

月日曜	行 程	食事
9/1 (金)	貸切バス コンベンションセンター 13:30 ————— 海の駅ぷらっとみなと市場 14:40 ————— 15:10 ————— ノーザンホースパーク(見学) 15:50 ————— 17:00 ————— 新千歳空港 17:20 ————— 17:30 ————— 札幌駅 18:30頃 ツアー特別ホースショーと アクティビティチケット付き	朝：— 昼：— 夜：—



ご参考
苫小牧観光動画



B【民族共生象徴空間ウポポイと話題のボールパーク F・VILLEGE 見学 日帰りツアー】

旅行期日	9月2日（土）
旅行代金	12,800 円
募集人員	40 名〈最小催行人員 15 名〉
添乗員	同行いたします。
費用に含まれるもの	バス代、有料道路代、見学科、昼食代、添乗員費用、乗務員費用
費用に含まれないもの	飲食代など個人的な費用

行程

月日曜	行 程	食事
9/2 (土)	貸切バス 札幌駅 8:30 ——— 国立民族共生象徴空間ウポポイ(見学) 9:50 ——— ノーザンホースパーク(見学・昼食) 11:30 12:20 ——— 13:10 ——— 北海道ボールパーク・F VILLAGE(見学予定) 14:00 ——— 15:30 ——— 新千歳空港 16:10 16:20 ——— 札幌駅 17:30頃 ※エスコンフィールド（野球場）内のご見学は出来ません。	朝：－ 昼：○ 夜：－

C【北海道の自然満喫 富良野・美瑛と神秘的白金青い池 日帰りツアー】

旅行期日	9月2日（土）
旅行代金	12,800 円
募集人員	40 名〈最小催行人員 15 名〉
添乗員	同行いたします。
費用に含まれるもの	バス代、有料道路代、見学科、昼食代、添乗員費用、乗務員費用
費用に含まれないもの	飲食代など個人的な費用

行程

月日曜	行 程	食事
9/2 (土)	貸切バス 札幌駅 8:30 ——— フラワーランドかみふらの(見学・昼食) 11:10 ——— 美瑛四季彩の丘(見学) 12:30 13:20 ——— 青い池(見学) 13:50 14:20 ——— 新千歳空港 17:20 17:30 ——— 札幌駅 18:30頃	朝：－ 昼：○ 夜：－

株式会社
セルオート
SELLAUTO

株式会社
セルオート
SELLAUTO

株式会社
セルオート
SELLAUTO

タイヤ・ホイール
ボディコート
修理・板金塗装
パソコン
えんぴつとか
c, e u
t c, e u
e



とま子ヨッパ
© 2011 苫小牧市

〒053-0033

苫小牧市木場町3丁目12番16号

代表電話：35-7766

事務機部門：61-1212

医療機器販売

ACT
株式会社アクト

WILL

医療のフロントラインで、
わたしたちはいつも
「いのち」の輝きを見つめています。



本 社

〒002-8005 札幌市北区太平5条6丁目1-1
<http://www.act-med.com>

TEL (011) 775-3511 FAX (011) 775-3510

旭川営業所

〒079-8416 旭川市永山6条6丁目11-8

TEL (0166) 73-5777 FAX (0166) 73-5778

函館営業所

〒041-0802 函館市石川町215-15

TEL (0138) 47-5155 FAX (0138) 47-5177

オフィスの
カタチを未来を
変える

株 式 会 社

阿 部 文 具

〒053-0045

苫小牧市双葉町2-1-19

TEL 0144-32-3779 FAX 0144-32-3778

Email mail@abebungu.com

URL <https://abebungu.com>



患者様中心の医療サービスへのプラットフォーム

受付システム

MERSYS-X

人をつなぐ

患者様・ご家族
医療従事者をつなぐ

いつでも

必要な情報を
必要な時に

Connected with You

— あなたに寄り添う —

スマートに

手のひらから安心を

どこにいても

場所にとられない
医療空間



スムーズな情報の流れをつくる MERSYS Series

受付

患者様が自身で受け付け



受付システム
MERSYS-X

待合

診察・会計の順番を患者様に案内・通知

● 院内表示



診察・会計 案内表示システム
MERSYSid

● スマホへメール
(オプション)



会計

ミスなく請求・支払い



診療費窓口支払機
MERSYS-MR



診療費支払機
MERSYS-AR700



より詳しい情報はこちら

販売元 株式会社 島津製作所 医用機器事業部 <https://www.med.shimadzu.co.jp>

販売元 島津メディカルシステムズ 株式会社 <https://www.shimadzu.co.jp/ms/>

製造元 島津トラステック 株式会社

とまねつという情熱

快適生活提供企業

苫小牧熱供給株式会社

本社: 苫小牧市大成町1丁目11番25号 / TEL (0144) 74-3141



客室(ツイン)

カムイコースNo.3

ニスバコースNo.13

コテージ「リスの森」バルコニー

大自然に囲まれた森のリゾート

「ニドム」とはアイヌ語で“豊かな森”を意味します。

深い森と美しい湖に囲まれたログハウスのコテージは、ゆっくりと流れていく時間が安らぎとくつろぎを感じさせます。

HOTEL-NIDOM ホテルニドム

北海道苫小牧市字植苗430番地 Tel.0144-55-8000(代表)

<https://www.nidomresort.jp/>



世界中の人々の
より豊かな人生のため、
革新的医薬品に
思いやりを込めて



Lilly

日本イーライリリーは製薬会社として、
人々がより長く、より健康で、
充実した生活を実現できるよう、
がん、糖尿病、筋骨格系疾患、
中枢神経系疾患、自己免疫疾患、
成長障害、疼痛などの領域で、
日本の医療に貢献しています。

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区磯上通 5-1-28
www.lilly.co.jp



薬価基準収載

血漿分画製剤

献血アルブミン5%静注 5g/100mL 12.5g/250mL 「JB」
 Albumin 5% I.V. 5g/100mL, 12.5g/250mL 「JB」 献血 (生物学的製剤基準 人血清アルブミン)

献血アルブミン20%静注 4g/20mL 10g/50mL 「JB」
 Albumin 20% I.V. 4g/20mL, 10g/50mL 「JB」 献血 (生物学的製剤基準 人血清アルブミン)

献血アルブミン25%静注 5g/20mL 12.5g/50mL 「ベネシス」
 Albumin 25% I.V. 5g/20mL, 12.5g/50mL-BENESIS 献血 (生物学的製剤基準 人血清アルブミン)

赤十字アルブミン25%静注 12.5g/50mL
 Sekijuji Albumin 25% I.V. 12.5g/50mL 献血 (生物学的製剤基準 人血清アルブミン)

特定生物由来製品 [処方箋医薬品[※]] 注)注意—医師等の処方箋により使用すること



血漿分画製剤
生物学的製剤基準 人血清アルブミン

献血アルブミン20% 静注10g/50mL「KMB」

特定生物由来製品、処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること) 製造販売元: KMバイオロジクス株式会社



血漿分画製剤
生物学的製剤基準 人血清アルブミン

献血アルブミン25% 静注12.5g/50mL「KMB」

特定生物由来製品、処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること) 製造販売元: KMバイオロジクス株式会社

薬価基準収載

※効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。
 添付文書の改訂にご留意ください。

製造販売元
KMバイオロジクス株式会社
 熊本市北區大塚一丁目6番1号

製造販売元
一般社団法人 日本血液製剤機構
 東京都港区芝浦3-1-1

ALB-202108

[文献請求先及び問い合わせ先] 一般社団法人 日本血液製剤機構 くすり相談室 〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-1 医療関係者向け製品情報サイト <https://www.jbpo.or.jp/med/di/>



魅力的な世界へひとつ飛び





旅の想いを









カタチにする





お得な情報が満載! <https://www.nta.co.jp/hokkaido/>



日本旅行
NIPPON TRAVEL AGENCY
HOKKAIDO 北海道

本社	☎011-208-0150	帯広支店	☎0155-23-9294	苫小牧支店	☎0144-32-6467
札幌支店(法人)	☎011-208-0170	北見支店	☎0157-23-2228	函館支店	☎0138-62-3770
札幌支店(教育)	☎011-208-0176	旭川支店	☎0166-26-0401	旅プラザ南1条店	☎011-208-0171
釧路支店	☎0154-99-9460	小樽支店	☎0134-33-4455	メディア販売センター	☎011-219-6130

薬価基準収載

選択的尿酸再吸収阻害薬 一高尿酸血症治療剤一



ユリス錠 [®] 0.5mg
1mg
2mg

〔ドチヌラド〕

処方箋医薬品^注

URECE[®] Tablets 0.5mg・1mg・2mg

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

※効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の
注意等は添付文書をご参照ください。



販売＜文献請求先及び問い合わせ先＞
持田製薬株式会社
東京都新宿区四谷1丁目7番地
TEL 0120-189-522 (くすり相談窓口)



製造販売元＜文献請求先及び問い合わせ先＞
株式会社 富士薬品
〒330-9508 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地
TEL 048-644-3247 (カスタマーサービスセンター)

2021年5月作成 (N3)

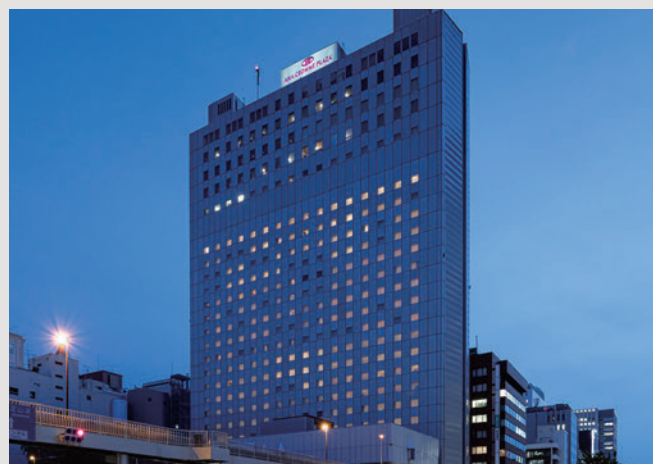


プレミアム ツイン(42㎡)

ANAクラウンプラザホテル札幌は、美しい北の都・札幌の街並みに溶け込む、
モダンで洗練されたアップスケールホテルです。

JR札幌駅より徒歩7分の創成川沿い。札幌時計台、大通公園、旧道庁赤レンガ庁舎など観光名所も徒歩圏内にあり、ビジネス、観光の拠点にふさわしいロケーションです。IHG グループのホテルであり、市内でも数少ないグローバルブランドのホテル。

世界水準の高品質なサービスと人間味あふれるホスピタリティでお客様をお迎えいたします。良質な眠りをサポートするスリープ・アドバンテージ・プログラムや24時間利用可能なフィットネスルームなど、旅の疲れを癒し、明日への活力を養うサービスが充実しています。



ホテル外観



朝食和洋buffet

ANAクラウンプラザホテル札幌

〒060-0003 札幌市中央区北3条西1丁目2-9 TEL:011-221-4411 FAX:011-222-7624



画像診断支援の新たな未来へ挑む

胸部X線画像病変検出ソフトウェア

CXR-AID



REiLI

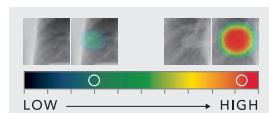
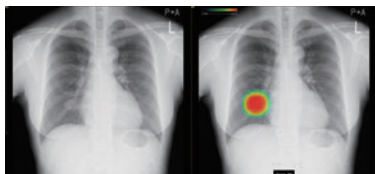
Medical AI Technology

AI技術^{*}を活用して胸部単純X線画像の「結節・腫瘤影」「浸潤影」「気胸」診断を支援

※ AI技術のひとつであるディープラーニングを設計に用いた。導入後に自動的にシステムの性能や精度が変化することはない。

ヒートマップ表示、スコア表示機能

結節・腫瘤影、浸潤影、気胸の候補領域を検出し、それらの異常領域の存在の可能性(確信度)を青から赤までのグラデーションカラーで表示します。確信度が低いほど青く、高いほど赤く表示します。また、各検出領域に対応する確信度の最大値をスコアで表示します。



ヒートマップ表示機能

ソフトウェアが異常領域の解析を行います。
解析結果の確信度に応じて、領域に重なるようにカラー表示されます。

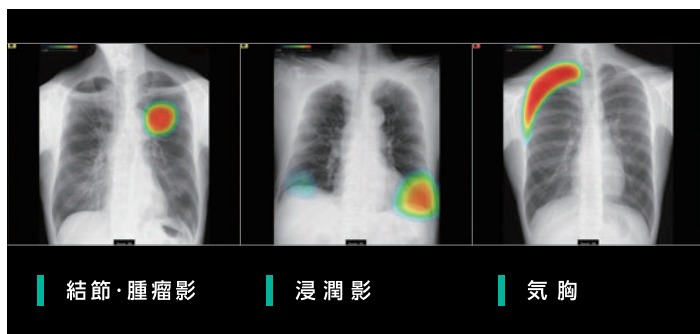
スコア表示機能

画像単位の解析結果として、画像内の確信度の最大値が数値で表示されます。

Score : 86

3つの画像所見に対応

本ソフトウェアの検出対象は、主要な肺疾患の画像所見である結節・腫瘤影、浸潤影、気胸の3所見です。健康診断や日常診療などにおけるさまざまな胸部単純X線検査で幅広く活用いただけます。



結節・腫瘤影

浸潤影

気胸



胸部X線画像病変検出ソフトウェア CXR-AID

販売名: 胸部X線画像病変検出(CAD)プログラム LU-AI689型
承認番号: 30300BZX00188000

※ ご利用いただくにはアプリケーションがインストールされた高速処理ユニットが必要です。

製造販売業者: 富士フイルム株式会社

販売業者: 富士フイルム メディカル株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フイルム西麻布ビル
TEL.03-6419-8040 (代) URL <https://fujifilm.com/fms/>